（指定の根拠）他の元ＲＣＤ―Ｇ（コンゴ民主連合）の造反分子とともに、2004年５月ブカブ市を武力占領。武器禁輸措置に違反して、コンゴ民主共和国国軍の組織外から武器を受領し、国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵に武器を供給することに関与。

10. マチュウ・キュイ・ングジョロ
Mathieu Chui NGUDJOLO
（別名）キュイ・ングジョロ（Cui Ngudjolo）
（旅券、人定情報）2003年10月、国連コンゴ民主共和国ミッション（MONUC）によりブニア（Bunia）市において逮捕。2008年２月７日にコンゴ民主共和国政府によりＩＣＣへ引き渡される。
（指定の根拠）ＦＮＩ（国民主義・統合主義戦線）参謀長、ＦＲＰＩ（コンゴ愛国的抵抗戦線）元参謀長。国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであり武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与した責任があるＦＲＰＩ軍の政策に影響力を行使するとともに、ＦＲＰＩの活動に指揮及び統制を維持している。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は2006年にイツリにおける15歳以下の児童の徴兵及び使用に責任があった。

11. フロリベール・ンジャブ
Floribert NJABU
（別名）フロリベール・ンジャブ（Floribert Njabu）、フロリベール・ンジャブ（Floribert Ndjabu）、フロリベール・ンガブ・ンジャブ（Floribert Ngabu Ndjabu）
（旅券、人定情報）ＦＮＩ（国民主義・統合主義戦線）による人権侵害に関与したため、2005年３月からキンシャサにて自宅拘留。2011年３月27日にハーグに移送され、ＩＣＣにてジェルマン・カタンガ及びマシュー・ングジョロの裁判での証言を行った。
（指定の根拠）ＦＮＩ議長。ＦＮＩは国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵の一つ。武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。

12. ローラン・ンクンダ
Laurent NKUNDA
（別名）ンクンダ・ミヒゴ・ローラン（Nkunda Mihigo Laurent）、ローラン・ンクンダ・ブワタレ（Laurent Nkunda Bwatare）、ローラン・ンクンダバトゥワレ（Laurent Nkundabatware）、ローラン・ンクンダ・マホロ・バトゥワレ（Laurent Nkunda Mahoro Batware）、ローラン・ンクンダ・バトゥワレ（Laurent Nkunda Batware））、「議長（Chairman）」、「ンクンダ将軍（General Nkunda）」、「パパ・シックス（Papa Six）」
（生年月日・出生地）1967年２月６日、コンゴ民主共和国北キブ州ルツル（Rutshuru）、1967年２月２日
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。コンゴ民主連合―ゴマ（ＲＣＤ―Ｇ）元将軍。2006年、人民防衛のための国民議会（ＣＮＤＰ）創設者。ＲＣＤ―Ｇ上級幹部（1998―2006年）。ルワンダ愛国戦線（ＲＰＦ）士官（1992―1998年）。2009年１月にルワンダでルワンダ当局により逮捕され、ＣＮＤＰ司令官を交代。以降、ルワンダのキガリで自宅拘留。コンゴ民主共和国東部で犯した犯罪により、コンゴ民主共和国政府がンクンダの引渡しを求めているものの、ルワンダは拒否。2010年、ンクンダによる違法拘留の訴えは、本件は軍事裁判所で審査されるものとして、ギセニにあるルワンダ裁判所で棄却される。ンクンダの弁護団はルワンダ軍事裁判所での手続きを開始。ＣＮＤＰの一部兵士に対して影響力を保持。
（指定の根拠）他の元ＲＣＤ―Ｇ造反分子とともに2004年５月ブカブ市を武力占領。武器禁輸措置に違反して、コンゴ民主共和国国軍外から武器を受領。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は、2002年から2009年までの北キブにおける同人の命令下の部隊による264件の児童の徴兵及び使用に責任があった。

13. ジェームズ・ニャクニ
James NYAKUNI
（旅券、人定情報）ウガンダ国籍
（指定の根拠）ジェローム・カクワヴの取引相手であり、特にコンゴ民主共和国・ウガンダ国境で密輸を行っており、未検査トラックによる武器・軍事関連物資の密輸も疑われている。武器禁輸措置に違反し、また国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵へ支援を提供（それらに軍事的に活動させる資金の援助を含む）。

14. ディウドネ・オジア・マジオ
Dieudonné OZIA MAZIO
（別名）オジア・マジオ（Ozia Mazio）、「オマリ（Omari）」、「ミスター・オマリ（Mr.Omari）」
（生年月日・出生地）1949年６月６日、コンゴ民主共和国アリワラ（Ariwara）
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍、アル（Aru）地区コンゴ企業連合（ＦＥＣ）会長。2008年９月23日、アリワラ（Ariwara）にて死去したと言われている。
（指定の根拠）ジェローム司令官及びＦＡＰＣ（コンゴ人民武装勢力）とともに金融謀略し、コンゴ民主共和国・ウガンダ国境で密輸を行い、ジェローム司令官及びその部隊に資材及び現金を利用可能にさせる。国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵への支援提供によるものを含め武器禁輸措置に違反。

15. ボスコ・タガンダ
Bosco TAGANDA
（別名）ボスコ・ンタガンダ（Bosco Ntaganda）、ボスコ・ンタジェンダ（Bosco Ntagenda）、タガンダ将軍（General Taganda）、「リディア（Lydia）」（ＡＲＰ参加時）、ターミネーター（Terminator）、タンゴ（Tango）、コールサイン「タンゴロメオ（Tango Romeo）」、又は「タンゴ（Tango）」、「少佐（Major）」
（生年月日・出生地）1973年～1974年、ルワンダ、ビゴグウェ（Bigogwe）
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。ルワンダで生まれる。幼少時、北キブ州（North Kivu）マシシ（Masisi）郡ニャミタバ（Nyamitaba）に転居。2011年６月現在、コンゴ民主共和国ゴマ（Goma）に居住し北キブ州マシシ郡ングング（Ngungu）地区で大規模農場を所有。イツリ和平合意を受け、2004年12月11日の大統領令によりＦＡＲＤＣ准将に指名。ＣＮＤＰの元参謀長であり、2009年１月のローラン・ンクンダの逮捕以降、ＣＮＤＰの軍事司令官。2009年１月以降、南北キブ州におけるＦＤＬＲ掃討作戦である「ウモジャ・ウェトゥ」、「キミアⅡ」、「アマニ・レオ」の事実上の司令官補。
（指定の根拠）コンゴ愛国同盟ルバンガ派（ＵＰＣ／Ｌ）軍事司令官。国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであり、武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与しているＵＰＣ／Ｌの政策に影響力を行使するとともに、ＵＰＣ／Ｌの活動に指揮及び統制を維持。同人は、2004年12月にＦＡＤＲＣ将軍に任命されたが昇進を拒否したため、国軍の外に留まっている。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は、2002年から2003年までのイツリにおける児童の徴兵及び使用のほか、2002年から2009年までの北キブにおける155件の児童の徴兵及び使用に直接及び（もしくは）命令の責任があった。同人は、ＣＮＤＰ参謀長として、2008年11月のキワンジャにおける虐殺の直接及び命令の責任があった。

16. 全ては平和と発展のために（非政府組織（ＮＧＯ））
TOUS POUR LA PAIX ET LE DEVELOPPEMENT（ＮＧＯ）
（略称）ＴＰＤ
（活動拠点）コンゴ民主共和国北キブ州（North Kivu）ゴマ（Goma）